

HKS・セリカXXターボ

HKSの代表である長谷川氏は日本のポルトオントターボの草分け的存在だ。今まで手がけた数も相当のものと聞く。

今回、HKSは「ニューストリートターボ」といわれる新製品を取り付けたセリカXX(2000cc)を持ち込んだ。

この「ニューストリートターボ」はこのM型エンジン以外にトヨタの2TGEU、日産では、Z18、Z20、L20Eに装着できるといふ。

ハイオクタン仕様とレギュラー仕様の2種があり、レギュラー仕様のキット価格は34万、取り付け料は3万5千円から4万円であるという。なおハイオクタン仕様は2万円アップである。メーカーのHKSの話して

はこのターボキットにより、レギュラー仕様で40馬力プラスぐらいを得ているという。

セリカXXは完全なストリートユースでエアコンディショナーも装備されている。そのいでもおとなしく、ノイズも最少である。強化クラッチやレシニングクラッチを扱った後には、なんとも頼りない感じを受けろのだが、走ってみると0-400m、15秒99、最高速180.67km/hを簡単に記録した。やはり40馬力アップに偽りはな

いようだ。なにもしていないM型エンジンとの差は2500rpmぐら

ニューストリートターボ/40万円弱の投資で40馬力アップ

から顕著で、まるで別物という印象を受ける。特にトップエンドになってからのトルクはさすがターボと思わせる。高速道路の上での追い越し加速は80-120km/hというところは大切だが、このへんのところはフォースで充分カバーできる。やはりターボは本格的にハイウェイを高速で走るのに適しており、いつでもターボパワーを働かせられる範囲の2500rpm以上を保って走っていればそこから一瞬の出足を使うことができる。セリカXX2000ccの室内は0-400m、18秒5、最高速160km/hといふところだろう。最高速はともかくとして0-400mのタイムが2秒以上縮まることにター

ボによるチューニングの価値がある。40万円近いエキストラファイヤーを払う価値が有りや無しやという点はクルマに対する考え方に

クイックレーディング・フィアットX1/9

ファイアットX1/9はきわめて魅力的なライトウェイトスポーツカーである。現在、ライトウェイトスポーツカーというこのクルマを始めMGミジェット、トライアンフ・スピットファイアなどがあるが、これらのイギリス車はすこぶる古典的である。むしろ、それは別の魅力を持ち出すが、根本的に古く

動力性能もハンドリングも現代的ではない。ファイアットX1/9はファイアット28のコンポーネンツを用いたミッドシップスポーツカーで、そのスーパーウェッジのボディはベルトーネが担当している。1.3ℓで始まったエンジンは現在1.5ℓへ拡大され、現在は日本へもこの1.5ℓ搭載車が輸入されている。

価格も307万7000円と比較的安く、MG、トライアンフにややあきたらないコンテンポラリーな感覚のヤングにもていようだ。ところが、このファイアットX1/9、日本の排ガス規制のために大幅なパワーダウンを余儀なくされている。

さがまったくなく、ソフィステイケートされた味のまま、静かに高いスピードが得られることにある。テスト車はダンパーをもう少し強化し、ダンピングフォースの効いた乗り心地を得られればとても良いロードカーになると思う。

もともと、キャパシティの小さいエンジンにエミツションコントロールでこのクルマの軽快な味がスポイルされたのは無理ないだろう。

そこでファイアットを愛好する若者がクイックレーディングなる会社を作り、ヨーロッパのパーツを輸入し、牙を抜かれたX1/9に活力を加えようということになった。

クイックレーディングは2台のファイアットX1/9-1500を持ちこんだ。夕暮迫るころ、赤とジェットブラックの2台のX1/9は軽やかなエキゾーストノートを吐きながら我々の前に登場したが、それはきわめて美しく、かつ魅力的であった。赤はスポーツカムシャフトを与え、入口にウェーバー40DCOE2個、出口はスポーツエキゾーストパイプ。ジェットブラックの方はこれより少し軽いチューンで、ウェーバーキャブとエキゾーストは同じだがカムシャフトはオリジナルのまま。足まわりは赤の方がオプションのスタビライザーをフロント

左がチューン度の高いX1/9、右はキャブと足の変更



に与え、クロモドラDタイプ5.5JホイールにピレリP6-185/60HR13をおこっている。ジェットブラックの方はスポーツサスペンションで、ダンパーの減衰力は15%アップしているという。

チューンアップ代は外国車ゆえ相当高く50-60万円という。動力性能はジェットブラックの方が0-400m、17秒60、最高速が156.35km/hである。赤の方はやはりカムシャフトの分だけ速く0-400m、17秒77、最高速164.38km/hである。これはカムシャフトにより高回転時のトルクの差が出たと思われる。

それにしても久しぶりに乗ったX1/9は実に楽しいクルマではある。フル加速を与えてもけっして派手にホイールスピン